

宿泊外国人比率8割のホテルが、日本の美で海外からのお客様をおもてなし。
Artist in Hotel 19 室目 “アーティストルーム 江戸-東京” 完成
2016年4月11日より販売開始

パークホテル東京（港区・汐留）は、訪日外国人のお客様に「日本の美」をお楽しみいただけるよう客室全体をアーティストが装飾する「Artist in Hotel」という取り組みを2012年12月よりスタートしております。2016年には31階フロアの客室すべてを改装するべくプロジェクトが進行中で、このほど19室目の「アーティストルーム 江戸-東京」が完成いたしました。 ※注1

パークホテル東京は、羽田・成田各国際空港からのアクセスの良さと、25Fフロントデスクから東京の代表的なシンボルである「東京タワー」と日本のイメージの代名詞である「富士山」を一望できるという絶好のロケーションにより、宿泊者の外国人比率が高く、2015年の外国人の宿泊比率が78%を超える状況で推移しています。今後も更なる訪日外国人の増加に伴い、宿泊者の外国人比率の上昇を見込んでいます。訪日外国人のお客様に、パークホテル東京ならではの「日本の美意識」を楽しんでいただけるよう館内各所でアートを意識した空間づくりを進めておりますが、中でも、客室の壁をキャンパスのようにして直接画を描いた「アーティストルーム」が大変ご好評をいただいております。

アーティストルームの19室目は「江戸-東京」をテーマに、美術作家のふるかはひでたかさんが2016年1月8日から制作をスタート、ホテルに滞在しながら約2ヶ月半制作を続け、2016年3月29日に完成いたしました。

「この部屋に滞在することで、現代的な景色の背後に流れるこの街の歴史を、少しでも意識する切っ掛けとなってもらえたら」という、ふるかはさん。制作したのは、2016年の東京の景色と重なるように、江戸の風景が描かれたお部屋です。スカイツリー、東京タワー、日本橋といった東京のランドマークを遠景に、近景には歌川広重が描いた浮世絵から引用して、同じ場所の名所絵が重ねて描かれました。変わり行く街並みと、季節が巡っても変わらずに咲く花。部屋の随所に描かれた桜、紫陽花、朝顔、菊、山茶花がお部屋を彩ります。

アーティストルーム「江戸-東京」では、江戸と東京の重なる景観を眺めながら、一世紀半のときを超えた時間旅行をゆっくりお楽しみいただけます。



アーティストルーム 江戸-東京 内観

「アーティストルーム 江戸-東京 Artist Room Edo-Tokyo」概要

宿泊開始：2016年4月11日(月)より販売開始

部屋タイプ：アーティストルーム シングル 広さ：19平米 ベッドサイズ：1,400×1,950

販売料金：1室1名利用 35,000円(消費税・サービス料・東京都宿泊税込)

ご予約・お問い合わせ：03-6252-1100 特設サイトURL <http://www.parkhoteltokyo.com/artcolours/aih.html>

【協力】不忍画廊、AIN SOPH DISPATCH【総合プロデュース】creative unit moon



天井に記された方位マーク



金地に栄える朝顔



広重の残した江戸の風景と見慣れた現代の東京の景色を重ねた絵



実際の方角に描かれたランドマーク

作家プロフィール／ふるかはひでたか

1968年 愛知県刈谷生まれ。1994年 東京芸術大学大学院 壁画専攻修士課程修了。道具、日記、生物学、音楽など、さまざまな事柄を題材に、特定のスタイルに固執することなく、常に多様な素材を用いて表現しています。近年は特に、土地を題材に「CULTIVATE」と名づけたシリーズを展開。歴史資料やフィールドワークから各地の個性を焙り出したり、忘れ去られた人物や出来事にスポットを当てる制作が活動のひとつの柱となっている。コンセプチュアルな立体作品を多く手掛けるが、和洋のスタイルを自在に操る平面作品も注目される。

注1：出来上がりは19番目ですが、スタートしたのは20番目です。

アーティストルームの進行状況

2016年4月11日現在 20室完成、2室制作中

※制作中の部屋：「城」…水口和紀さん(2015年3月2日～)

「侘び寂び」…原こなみさん(2016年4月5日～)

※制作中のお部屋の取材も承ります



ふるかはさん近影

<本件に関するお問い合わせ>

パークホテル東京 マーケティング部 広報：宮崎、早乙女

Email : y.miyazaki@parkhoteltokyo.com 〒105-7227 東京都港区東新橋 1-7-1 汐留メディアタワー

TEL:03-6252-1111(代) FAX: 03-6252-1001